



日進北小だより

令和7年10月1日 第6号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<https://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、
行動できる子どもを育成する
～自分一 すてきなあいさつ 日北っ子～

児童の学校生活の様子を、
随時更新し掲載しています。
どうぞ、ご覧ください。

明日(あす)も進む いのちの日 ～正しい知識から、動く勇気へ～

校長 寺越 崇征

毎年9月30日は「明日(あす)も進む いのちの日」。すべてのさいたま市立学校で、AEDの一斉点検および児童生徒へのAEDの設置場所等の確認を行い、学校安全管理体制の充実を図る日と定められています。

今から14年前の平成23年9月29日、さいたま市の小学6年生だった桐田明日香さんが、駅伝課外練習中に突然倒れ、救急搬送されたのち、翌30日に亡くなるという大変悲しい事故が起きました。事故の翌年の9月30日にさいたま市が作成した「体育活動時における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」が当時の全教員に配付され、AEDを用いた心肺蘇生法の研修を繰り返し行ってきました。今でも毎年各学校で研修を行い、さらに3年に1度は全教員が「普通救命講習Ⅰ」を受講しています。

また、子どもたちも心肺蘇生法を授業で学習しています。さいたま市では、5・6年生の体育(保健領域)でAEDの機能を知り、胸骨圧迫の方法を全員が学習します。(救命入門コースⅡ・Ⅲの参加証が授与されます。)また、全学年で緊急時に自分たちでできることを知り、行動できる力を身に付ける学習も行っています。

さいたま市の子どもたちに身に付けさせたい力(さいたま市教育委員会「明日(あす)も進む いのちの日」指導上の留意点より)

低学年	・自分の身の安全を確認できる。 ・大人を呼びに行くことができる。 ・校内に設置されているAEDの場所を知る。
中学年	・自分の身の安全を確認できる。 ・周囲の安全を確認できる。 ・大人を呼びに行くことができる。 ・校内に設置されているAEDの場所を知る。 ・校内に設置されているAEDを取りに行くことができる。
高学年	・AEDの目的や機能について知る。 ・AEDの設置場所について知る。 ・緊急時の対応ができる。 ・胸骨圧迫ができる。

日進北小学校は、**保健室前の廊下**にAEDを設置しています。さらに、PTAのご協力で北校舎2階に3台(**6の1教室前**、**中央階段前**、**なかよしルーム前**)と**体育館入り口(外側)**と**職員室後方**にも設置いただいています。まずは学校内にこれだけのAEDがあるということを知っておくことが大切です。子どもたちにも朝会で紹介します。学校にお越しになった際に、ぜひ場所を確かめてみてください。

先日、私も校内のAEDを見て回りました。1台1台ほこりを拭き取りながら、「このAEDが使われていない状態が当たり前となっている今、いざ使用する必要に迫られることが起きたときに、果たして冷静に使用することができるだろうか」と考えてみました。実際は訓練通りにいくとは限りません。何しろ私は一度も本物を使用したことがないので、未知の領域です。誰かの命を守るために迷わず行動する強い意志と勇気をもてるかどうか。未知への不安を取り除くには、実際に経験することを除けば、正しい知識を身に付けるしかないでしょう。正しい知識を身に付けているという自信が、いざという時に行動する勇気になるはずです。1分でも1秒でも早く行動に移すことができるよう、正しい知識を常に学んでいこうと改めて思いました。

本校のAEDは全て正常に動くことが確認できました。これで安心…ではなく、使用する人間が正しく行動できなければ意味がありません。今後も子どもたちが安心安全に学校生活を送れるように、教職員全員が緊張感をもって準備万端の状態を保ち続けなければと、強く心に刻みなおした9月30日でした。



体育館入り口(外側)



保健室前